



Data

監督：吉村芳之
原作：池上永一『テンペスト』（角川文庫）
出演：仲間由紀恵（2役）/ 谷原章介 / 塚本高史 / 高岡早紀 / GACKT / 若村麻由美 / 高橋和也 / 小林幸子 / かたせ梨乃 / 八千草薫 / 奥田瑛二

ショートコメント

私はテレビドラマは全く観ないが、『テンペスト』は話題になっていたから、そのポイントは知っていた。それが3Dの劇場版になると聞き、「これは観なければ・・・」と思ったが、2時間29分という長さにまず戸惑った。しかも、ネット情報によれば「ドラマ版全10話を2時間半に再構成」と書いてあったから、基本的なストーリーはドラマと全く同じ。そう思うとなおさら躊躇したが、3Dだし、やっぱり行かなければ・・・。しかし・・・。

三国志をドラマ化すれば、60分～90分モノで30話にも50話にもなる。現在3年越しでNHKスペシャルドラマ『坂の上の雲』が放映されているが、これだって90分モノで計13話。『テンペスト』はそれほど壮大な歴史ドラマではないが、薩摩と清国の間で揺れ動き、そこにアメリカのペリー提督まで加わってくる激動の時代の琉球王国を舞台に、男だと偽って王宮に上り、役人として辣腕を振るうヒロイン(?)孫寧温(仲間由紀恵)の一生を描くドラマは、それなりに壮大。そうすると、1本の映画ですべての物語を描くのはムリ?そんな心配をしていたが、案の定・・・。

映画冒頭には、3Dの映像を意識した龍の躍動的な姿が登場する。これこそ不思議な力を宿した女の子の誕生を象徴するものだが、史上最年少で官吏登用試験を突破した孫寧温には、尚育王(高橋和也)の姉で強い霊力を持つ王族神の聞得大君(高岡早紀)をはじめ、さまざまな敵対勢力が・・・。さらに後半には、琉球王国のつとりのため清国から派遣された徐丁垓(GACKT)が登場するから、その対決も見モノ。ところが、私の観る限りこれらのストーリー展開は基本的に平凡。しかも、3Dの映像美を魅せつけるシーン

も乏しい。これではいくら劇場版3Dと銘打っても、所詮テレビドラマの延長では？

2011(平成23)年12月17日記